※令和３年度以前入学生用

学校番号	324

令和５年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	世界史Ｂ	単位数	４単位	年次	３年次
使用教科書	詳説世界史　世界史Ｂ　（山川出版社）						
副教材等	ニューステージ世界史詳覧　（浜島書店）・世界史用語集（山川出版社） 世界史ノート（啓隆社）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

歴史的事象に「なぜ」の視点を持つこと、現在の出来事との繋がりを感じることを重視して授業を進める。史料、地図等になじんで、歴史的思考力を養うことをめざす。

２　学習の到達目標

・諸資料に親しみ、歴史的思考力を培う。
・文化の多様性・複合性と現代社会の特質を広い視野から考察する力を養う。
・世界の歴史を地理的条件や日本の歴史と関連づけながら理解し、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	歴史的事象に対する関心と課題意識を高め、世界の歴史を意欲的に追及することができる。 国際社会に主体的に生き、地球市民としての責任を果たそうとする。	歴史的事象から課題を見出し、世界の形成の歴史的過程と文化の多様性・複合性を、世界的視野に立って多面的・多角的に考察することができる。	文化の多様性・複合性を、歴史的に考察するための諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、効果的に活用することができる。	世界の歴史の大きな枠組みと展開についての基本的な事柄を理解し、その知識を身につけている。
評価方法	・レポート課題 ・観察	・定期考査 ・小テスト等 ・レポート課題	・定期考査 ・小テスト等 ・レポート課題	・定期考査 ・小テスト等 ・レポート課題

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和３年度以前入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期	帝国主義とアジアの民族運動	・帝国主義と列強の展開 ・世界分割と列強対立 ・アジア諸国の改革と民族運動	○	○	○	○ ○ ○	a:帝国主義による世界分割がアジア・アフリカに与えた影響について関心と問題意識を高め、意欲的に学習する。 b:アジア諸国の改革や民族運動について、史料を用いて具体的に学習する。 c:帝国主義による世界分割について、地図を有効に活用して学習することができる。 d:帝国主義とアジアの民族運動について、基本的な事柄を理解し、その知識を身につけている。	・定期考査 ・小テスト等 ・レポート課題
	二つの世界大戦	・第 1 次世界大戦とロシア革命 ・ヴェルサイユ体制下の欧米諸国 ・アジア・アフリカ諸国の民族運動 ・世界恐慌とファシズム諸国の侵略 ・第 2 次世界大戦	○ ○	○ ○	○	○ ○ ○ ○ ○	a:人類が 2 度の世界大戦を経験しなければならなかった理由に関心を高め、意欲的に学習する。 b:ヴェルサイユ体制の特質と、各国の世界恐慌への対応、ファシズムの出現について学習し、いかにして第 2 次大戦開戦につながったかを適切に表現することができる。 c:戦間期におけるアジア・アフリカ諸国の民族運動について、地図、史料を用いて学習する。 d:二つの世界大戦について、基本的な事柄を理解し、その知識を身につけている。	・定期考査 ・小テスト等 ・レポート課題

※令和３年度以前入学生用

後期	冷戦と第三世界の独立	・戦後世界秩序の形成とアジア諸地域の独立 ・米ソ冷戦の激化と西欧・日本の経済復興 ・第三世界の台頭と米ソの歩み寄り ・石油危機と世界経済の再編	○	○		○ ○ ○ ○	a:20 世紀を特色づけた米ソの冷戦に関心を高め、意欲的に追求しようとする。 b:戦後世界秩序の学習から戦後の日本の国際的位置付けを考察し、適切に表現することができる。 d:冷戦期の世界について、基本的な事柄を理解し、その知識を身につけている。	・定期考査 ・小テスト等 ・レポート課題
	現在の世界	・社会主義世界の変容とグローバリゼーションの進展 ・途上国の民主化と独裁政権の動揺 ・地域紛争の激化と深刻化する貧困 ・現代文明の諸特徴	○	○	○	○ ○ ○	a:冷戦終結後の地域紛争について関心を高め、意欲的に学習する。 b:東欧社会主義圏の消滅について、歴史的過程を考察し適切に表現することができる。 c:現代文明の特徴について、写真、絵画などを用いて学習することができる。 d:冷戦後の世界について、基本的な事柄を理解し、その知識を身につけている。	・定期考査 ・小テスト等 ・レポート課題

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。